

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
かぶこキッズ支援スクール三原		令和8年3月1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	活動部屋を分ける、フロアを仕切る等しながら活動しています。	同じ遊びや場所を好む際には、納得できるように無理のない程度で話をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	適切に配置できています。利用者の急な増減にも臨機対応に対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	トイレの広さ、室内の段差等には配慮しています。玄関の階段には手すりを設置し、昇降には職員を2人体制にし万全な注意を払っています。	出来ている部分もあるが、まだまだ工夫が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃と消毒、定期的に換気をし心地よく過ごせる環境づくりに努めています。	冷暖房を使い、寒暖差に気を付けて快適に過ごしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	クールダウンが出来る部屋を用意しています。	必要に応じてクールダウンの場を使っているが、環境の整備の工夫が必要です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	全職員が参加できる時間帯のミーティングを定期的に設定しています。	参加が難しい職員には記録を残し共有していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	送迎時の会話やノートやメール等でのやりとり、面談等でいただいたご意見も含め、総合的に判断し改善を行っています。	ミーティングや記録等で周知し、全職員が対応できるようにしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	個人面談、ミーティングを行い、業務改善につなげています。	思いや要望等伝えられる関係性を築いていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	88%	12%		評価結果を業務改善に繋げていけるよう努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	オンライン研修等も活用し研修機会を増やし、スキルアップを図っています。	参加が難しい職員には伝達研修等を行います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し、ホームページにて公開しています。	支援プログラムの内容を日々の支援に活かします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	本人、保護者の希望やニーズをしっかり把握し、個別支援計画を作成しています。	ひとりひとりに対して、細やかなアセスメントを適切に行います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援に関わる職員全員が意見を出し合い、検討をしています。	こどもの最善の利益を考慮していけるよう努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています。	全職員がいつでも確認ができる環境を整え、日々のミーティングでも周知、共有していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	88%	12%	適応行動の状況を日々の行動観察により確認出来ています。	日々の行動観察の共有は出来ているが標準化されたツールを用いての確認が必要です。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容や支援方法を明確にしています。	「地域支援・地域連携」のねらいを踏まえながら設定してけるよう努めます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	ミーティングを行い活動プログラムを作成しています。	職員全員が活動の目的を理解し取り組めるよう努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	同じ活動でも新しいルールや約束を入れる等固定化しないように工夫しながら取り組んでいます。	個々の特性を踏まえ、変化の苦手なこどもには様子を見て自主性を尊重していきます。

児 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	こどもの特性や相性、支援人数によって場所や活動をそれぞれ工夫し、目的をもって支援しています。	こどものその日の体調や気持ちを踏まえ無理のない形で支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援前にミーティングを行い、その日の活動、役割分担を確認しています。	職員全員が活動の目的を理解し取り組めるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	88%	12%	その日に報告しあっています。送迎等もあり終了後は難しい場合があるため、記録を残し翌日職員間で情報共有できるようにしています。	職員全員が確実に共有し、後の支援に繋げられるよう努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	連絡ノートへの記入の他、支援記録をとり検証しています。	日々の記録を個別支援計画の目標につなげていけるよう、気付きや様子を明確に記載します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月に一度モニタリングを行い、職員全員で見直しています。	保護者の意見や家庭の様子を丁寧に取り、計画に反映させていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	日常生活動作や一つの活動の中に、複数の基本活動の要素を組み込めるように設定しています。	職員全員が「4つの基本活動」を意識して支援できるよう努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	毎日のおやつを買い物方式で選んでいます。定期的にセルフ活動日を作り複数の活動の中から選択し取り組んでいます。	言葉での自己決定が難しい場合は、カード、ジェスチャー等で選択してもらえよう取り組んでいます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加しています。	担当者会議を企画し機会をもっと増やせるよう努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	88%	12%	学校で行っている支援と一貫性が持てるよう連携をとり支援に繋げています。	関係機関との連携体制を直接的かつ継続的に行えるよう努めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	配布物やホームページの確認、送迎時に先生や保護者の方への確認を行っています。必要な場合には電話連絡をし対応しています。	共有内容に誤りがないよう、状況に応じた連絡方法で情報共有を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	63%	37%	必要な場合適宜連携をお願いしています。	今後も相談支援事業所からの情報だけでなく、保育所、幼稚園等関係機関との連携ができるよう努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	63%	37%		まだ対象児がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	88%	12%	相談支援事業所を中心に連携を深め、助言をいただく機会を増やせるよう心がけています。	児童発達支援センターと連携し、一時的・限定的なものにならないよう努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	63%	37%	マナーやルールを守りながら地域のこどもたちと関わる機会を、外出や戸外活動の中で設け、社会性を育む支援を行っています。	放課後児童クラブや児童館と交流機会が持てるよう検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	可能な限り参加しています。	協議会等へ参加し、つながりを深めていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々のノートや送迎時の会話、SNSなどを通し共有できるよう努めています。	支援の方向性が一方的にならないよう、情報共有を継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	37%	家族等が参加できる研修の場を設け、情報提供を行っています。	ペアレント・トレーニング導入を検討しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約時に説明しています。質問をいただいた際には、丁寧な説明を行っています。	内容を十分に理解していただくよう、分かりやすい伝え方や説明方法を工夫していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者だけの意向にならないように、本人の思いや気持ちを丁寧にみ取る支援を行っています。	こどもの年齢や発達状況を踏まえ、カード、選択肢の提示等を用い、意思表示の工夫をしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	個別支援計画を保護者に提示し、支援の目的や課題の説明を行い同意を得て支援を行っています。	個別支援計画の内容を分かりやすく説明できるよう工夫します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時や面談時、また随時電話やLINE、メール等も利用し支援しています。	子育ての悩み等、相談しやすい関係づくりを普段よりつづけていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	利用児、保護者、きょうだい参加の夏祭りを開催しています。	今後も継続して計画し、開催していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	体制整備し、ご契約時に体制について保護者に説明しています。要望があった場合には、迅速に職員間で共有し対応しています。	苦情や要望に対してより迅速に対応できるよう体制を整えていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月に一度写真付きで活動報告を行っています。SNSも利用し情報発信しています。	定期的にSNSでの発信をしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵付き書庫にて保管しています。SNS等公開には、各家庭に確認し行っています。	今後も鍵付き書庫にて個人情報を管理し、閲覧範囲や持ち出し等管理方法を統一していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	必要な場合は会話や文章だけでなく図や写真を使って情報伝達を行っています。	障害特性に応じた伝え方を職員間で統一していくよう努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	75%	25%	茶話会を開催しています。	地域との関わりを増やし、情報発信していく必要があります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	マニュアルを策定し事業所内で周知し、訓練を行っています。	機会を設け保護者にも周知できるよう努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCP、避難確保計画を策定しています。消防署見学や避難訓練、防災教室等を実施しています。	定期的に訓練を実施し、非常災害に迅速に対応できるよう努めます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	ご契約時に確認をしています。服薬が変更になった場合には内容を保護者と共有し、体調変化に注意しています。てんかん発作時の予兆や対応について職員間で共有しています。	こどもたちの状況を注視し、保護者との連携をとっていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	アレルギー対応研修を受けています。保護者に確認し、必要な場合には医師への相談をお願いしています。	緊急時対応の統一を職員全員で図っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、事故防止、災害、健康リスクへの対応を行っています。	安全計画が日常支援に活かされるよう職員全員に周知し、環境整備を行います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	家族へ周知し、理解を得られるよう努めています。	家族へ十分に説明する機会を確保するよう工夫します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	色々な事態を想定し、迅速に作成、共有しています。	職員全員で共有し、再発防止に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修の視聴、伝達研修を行っています。	伝達研修をしっかりと行い、支援の質の向上を図ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束は原則禁止であると職員全体で共有しています。緊急性の高い場面では組織的に検討、決定し同意を得て対応するよう計画に記載しています。	緊急性の高い場面の具体例を詳しく話し合い、決定しておく必要があります。	